



# 川東小だより

第3号

令和4年6月13日

新発田市立

川東小学校

## 運動会の成果を活かす

校長 岡崎 功一

田んぼの苗が緑濃くすくすくと育つ梅雨の季節となりました。川東小の子どもたちは、いつものように学習をはじめいろいろな活動に元気いっぱいに取り組んでいます。5月28日（土）の運動会には、多数の保護者の皆様からご来校いただきありがとうございました。また、PTA三役をはじめとした役員の皆様におかれましては、準備、後片付けにご協力いただいたことに重ねて感謝申し上げます。

今年の運動会のスローガンは、「全校で楽しく思い出に残る運動会」でした。先日、ある学年の子どもたちの振り返りの作文を読ませてもらいました。「団体競技では、練習では負けていたけど勝ててよかった。」「負けて残念だったけど全力を尽くした。」等々、綴られていました。運動会は勝負事ですので勝ち負けがつきます。しかし、勝負を超えたところに、子どもたちが、それぞれ満足感、充実感を得て、スローガンのように思い出に残る運動会であったと思います。

子どもたちの活躍ぶりがたくさん見られた運動会でしたが、私が最も印象に残ったこと場面を紹介します。それは、閉会式での総合得点と優勝チームの発表の場面です。得点発表がされ、白組の優勝が発表されたときのことです。明暗がはっきりとする場面です。白組の優勝が告げられると、白組の子どもたちは、ガッツポーズをして喜びを体で表現しました。一方、赤組の子どもたちの様子です。一様に残念そうな表情を見せるのですが、かなり多くの子どもたちが、勝った白組を讃える拍手を送っていました。私は、負けた赤組も大いに讃えたい気持ちになりました。

競技が始まる前の開会式で、私は、子どもたちに次のことをお話ししました。「運動会は勝負ごとなので、勝ち負けはつきものです。しかし、勝っても負けても、お互いを大切にする尊重する気持ちをもって取り組んでください。勝っても負けてもお互いの健闘を讃え合いましょう。それができれば、思い出に残るすばらしい運動会になります。」子どもたちは、そのことが意識できてうれしい気持ちになりました。この閉会式の赤組の子どもたちの態度について、6月の全校朝会で子どもたちにも紹介しました。赤組も白組もお互いの健闘を讃え合うことができ、すばらしい運動会だったことも併せて話をしました。

少し話題は変わりますが、今月は、いじめ見逃しゼロ強調月間です。今回の運動会で子どもたちが、見せてくれた「相手を大切にする態度、尊重する態度」を「いじめをしない、許さない、見逃さない態度」につなげていけるように取り組んでまいりたいと思います。川東小の子どもたちならきっとできるはずです。



# 全校で楽しく思い出に残る運動会 真剣！全力！そして笑顔いっぱい♪



**令和4年度PTA総会資料について承認ありがとうございました**

お配りしましたPTA総会資料について、ご意見は特にいただいておりません。遅くなりましたが、令和4年度の役員や予算等につきまして、ご承認いただきありがとうございます。2点訂正箇所及び確認事項がありましたので、ご連絡いたします。

- ① 上楠川の地域委員は、小柳明子さん(4年知夢さん)ではなく宮村奈央子さん(4年絃さん)です。
- ② 学年行事で掛かる費用については、本年度から実費負担になります。ただし、活動における講師料や道具・物品の購入費等については、児童活動補助費から支出することが可能ですので、事務局にご相談ください。

では、今後とも川東小学校のPTA活動にご協力をよろしくお願いいたします。